

～角筈地区協議会～

第1回生活環境分科会 概要

平成25年6月10日（月）16時～16時30分
角筈地域センター7階会議室

出席：委員8名 事務局3名

勉強会「街路のまちづくり」終了後、生活環境分科会委員のみで分科会を開催しました。概要は下記の通りです。

1 今年度の事業について

生活環境分科会では、今年度の事業として「自転車駐輪問題」と「地域の高齢者問題」について考える事業を下記のように計画しています。これらをどのように進めていくか検討しました。

・「自転車駐輪問題」

本日の勉強会での情報を踏まえ、最終的には駐輪場や放置自転車対策について提案書などを作成し、新宿区に提出するという意向です。

・「地域の高齢者問題」

高齢者が気軽に集えるカフェやいきいき体操(高齢者ストレッチ教室)の開催を計画しています。

2 事業の進め方について

まずは、カフェや体操教室が実現可能かを検討します。カフェについては事務局より、次のような情報提供がありました。

・「社会福祉協議会地区分科会ボランティアによるカフェ開催の計画について」

新宿区社会福祉協議会から、柏木角筈地区分科会が地域で高齢者の集えるカフェの開催を考えているとのお話がありました。柏木地域ではすでに地区協議会主催でカフェを開催しているので、社協主催のカフェは断られたとのこと。当地区協議会でも、生活環境分科会がやはりカフェを開催するという計画があるということをお伝えしたところ、共催も視野に入りたいとのことでした。社協分科会ではシニア活動館での開催を考えているようです。7月2日に社協地区分科会のカフェの検討会議があります。この会議を聞きに行くことも可能です。

これを受けて、リーダーから提案がありました。

→7月2日はリーダーが社協地区分科会の会議に出席し、話を聞いた上で当分科会でのカフェの開催は実現可能か考えたい。その後早々に分科会を開き委員で検討したい。

委員から、カフェとはどういうことをやるのか、という質問がありました。

→家に閉じこもりがちな高齢者に声を掛け、お茶を飲みながらおしゃべりしたり顔なじみになったりという場。地区協委員の役割としてはお話し相手やお茶出しをしてきっかけ作り等する、といったイメージ。世代間交流も考えられるが、基本的に高齢者対象。知らない人同士をつなぐ場となればよいのでは。

また、委員から次のような情報提供がありました。
→高齢者向け昼食サービスを行っているボランティアグループがある。こういった会にも参加されないような高齢者にどのようにしたら参加してもらえるようになるのが課題。高齢者クラブなどに声掛けをしてもらうなど協力を仰ぐといった地道な努力が必要。また、カフェを開催する場所も一ヶ所だけではなく、各地域に場を設けた方がよい。四谷地区協議会の事業「シニア健康体操とストレッチ教室」は、複数の会場を用意してたくさんの方が参加しやすい工夫をし、民生委員など多くの方に協力をしてもらい展開している。当分科会のカフェ開催についても検討を重ねないといけない。

3 勉強会「街路のまちづくり」まとめについて

本日の勉強会を受けて、自転車対策について新宿区に提案できるようにしたい、そのためにも違う方面(例えば新宿区みどり土木部交通対策課など)からの話も聞いてみたい、との委員の意見がありました。自転車対策については、次回の分科会でどのようにすすめていくか検討することになりました。

4 次回分科会日程

日 時 : 7月2日(火) 午後3時～5時
場 所 : 角筈特別出張所2階会議室
議 題 : ・高齢者向けカフェについて
・体操教室について
・自転車対策事業の進め方について